

新発田市 平成 30 年度 第 9 回定例記者会見

- 1 日 時 平成 30 年 12 月 3 日（月）午後 1 時 30 分～
- 2 場 所 ヨリネスしばた 501 会議室
- 3 内 容
 - しばた地域づくりフォーラム ～地域おこし協力隊活動発表会～
 - 「月岡芸妓 in 月あかりの庭」
 - 札の辻クリスマス・イルミネーション
 - 市民表彰式・新春を祝う会
 - 地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞
 - 中央図書館企画展示「さよなら平成展」
 - 義士祭
 - しばた軽トラ市～札の辻マーケット クリスマス Ver. ～
 - 新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏婚活支援事業

あいさつ

- 選挙後の正式に記者会見という形では今回が初めてになります。三度、こういう場に立つことができ、推し上げていただいた市民の皆さんに感謝を申し上げたいと思っています。
- 1 期目、2 期目と比べて今回は違うなと感じるのは、まちを歩いていると市民の皆さんに声を掛けていただく頻度が多いということが、何となくわかるということです。
- それほど市長選の関心が高かったかと言えば、投票率から見ると決してそういう状況ないわけです。ただし、投票率 53% で 26,292 票をいただきました。
- このことは、素直に 2 期 8 年間に対して、一定の評価をいただいたと言えるのではないかと思いますし、3 期目には「大きな期待をしているぞ」という背中を押してくれる市民の声があのよう形になったのではないかと思います。
- これまで、「健康田園文化都市・しばたの創造」ということを挙げてきました。「住みよいまち日本一」というのは、あくまでも人口減少に対する

取組に対し、斜に構えることなく正対していこうということを宣言する意味でありますし、「健康田園文化都市」というのは命を大切にすまち、「田園」は食べていけるまち、「文化」は未来に投資をするまちということです。この3つの柱をこの2期8年間、種をまき育てまいりました。

- 命を大切にすまちということでは、少子化対策、子育て支援に特化をさせていただいて、人口減少に歯止めをかけたという意味では一定の評価をいただいたのではないかと思います。
- 食べていけるまちということでは、産業の高度化を図らせていただきました。その主たるものが、「人のインバウンド、モノのアウトバウンド」になるのだと思うのですが、これについても、まだ面になっていませんが、点にはなったのではないかと思います。
- 「文化」については教育、未来に投資をするまちということで今まで育てできました。学力の向上という点では、県・国の学力平均を全小・中学校で上回るという成果をおさめたということでもあります。
- 市民の皆様から2期8年の評価をいただいたということでもありますので、「住みよいまち日本一、健康田園文化都市の創造」という旗印を変えろという考えは毛頭ありません。
- 旗印は変えませんが、2025年問題、2040年問題ということが囁かれていますので、ここに健康長寿アクティブプランを作らせてもらい、今まで3つの柱だったところに1つ柱を加えて、4つの柱にして取り組みます。
- また、子どもたちに「Uターン」ということを唱えていくために、「しばたの心継承プロジェクト」を立ち上げます。子どもたちに自分が生まれたふるさとに誇りを持ってもらい、歴史を含めて新発田を理解してもらう。それによって、例えば東京で学んでもふるさとに帰って来ようという子どもたちを多く育てていきたい。学力の向上と郷土愛の醸成を合わせて取り組んでいきます。
- いずれにしても、100年先も持続可能な新発田市を創っていくために、以上のようなことに取り組むことが3期目の大きな仕事になると思っています。

それでは、会見項目を説明いたします。

最初に、「しばた地域づくりフォーラム・地域おこし協力隊活動発表会」について

- 12 月 9 月（日）に、当市の各地域で活躍する地域おこし協力隊の活動事例を紹介する発表会を、初めて開催します。
- これは、市内の自治会長の皆さんから、「地域づくりの先進事例を聞きたい」との要望を受け、市内で先進的な取組を実践している「地域おこし協力隊」の活動事例を紹介し、地域づくり活動の参考にしてもらうことを目的に開催するものです。
- 当市では、これまで9人の地域おこし協力隊員が活動してきました。また、この12月から1人、来年1月にさらに1人の協力隊員が新たに加わります。この2名は東京都から当市に移住してくるとのことです。
- 当市における地域おこし協力隊を活用した事業は、これまで、協力隊員が担当する地域に実際に移住し、住民との交流を深めながら、それぞれの地域課題の解決などを通じて、地域おこしにつなげるスタイルが主流でした。
- 今後は、さらに一步踏み込んだ事業展開に向けて、地域の課題を解決するための中間支援組織である「地域づくり支援センター」に、先ほどお話しした、新たに加わる2人の協力隊員を配置します。
- これにより、協力隊員が特定の地域だけでなく、全ての自治会等を対象に支援できる仕組み作りを進め、新発田市全域へ地域づくり活動が広がっていくことを期待しています。
- 当日は、地域おこし協力隊員が先進事例を発表するほか、地域づくり支援センターの取組についても紹介する予定です。
- ぜひ、この機会に多くの方にお越しいただき、これからの新発田の地域づくりについて、一緒に考えていただきたいと思います。

次に、「月岡芸妓 in 月あかりの庭」について

- 月岡温泉の新名所「月あかりの庭」を会場とした、観光誘客に向けた取組について紹介します。
- 「月あかりの庭」は、インスタ映えするスポットとして、10月17日のオープン以来、連日多くの方々が訪れていると聞いています。
- この度、インバウンド旅行客向けに、新発田・月岡温泉の伝統文化である月岡芸妓の舞の披露と写真撮影会を開催します。
- この取組により、インバウンド誘客に拍車をかけるとともに、SNSによる情報発信などを通じて、「月あかりの庭」の、さらなるPRにつなげていきたいと考えています。
- 海外からお客様はもとより、国内からのお客様にも、ぜひ、当市を訪れていただき、伝統文化・温泉・食など、新発田の魅力を存分に楽しんでもらえるよう取り組んでまいります。

次に、「札の辻クリスマス・イルミネーション」について

- 12月22日（土）、ヨリネスしばた札の辻広場を会場に、クリスマスモチーフとした映像を楽しむことのできる、イルミネーションイベントを開催します。
- 新発田市出身のプロジェクション・ディレクターで、全国でも活躍している岸本智也さんが映像の作成を担当し、たいへん幻想的な空間が作り上げられると聞いています。
- 当日は、札の辻広場の天井や壁面いっぱいに投影された美しい映像と合わせ、地元で活躍するバンドの生演奏も楽しんでいただくことができます。
- ぜひ、多くの方にご来場いただき、広場一面に敷き詰められた人工芝に寝そべりながら、冬の夜空を見上げる気分で、一足早いクリスマスを味わっていただきたいと思います。

次に、「市民表彰式」と「新発田市新春を祝う会」について

- 1月7日（月）に、平成最後となる「市民表彰式」と「新発田市新春を祝う会」を開催します。
- 今年はカルチャーセンターを会場として、「市民表彰式」では、「市民表彰」、「賀状」、「まちづくり善行賞」を合わせて、33人、2団体を表彰します。
- 引き続き行われる「新春を祝う会」では、各界各層の皆様にお集まりいただき、新年のご挨拶と年賀の交換をさせていただきます。
- また、アトラクションとして、敬和学園大学の学生によるジャズバンドの演奏を予定しています。
- 毎年恒例の行事ではありますが、平成最後となる新発田の新春を、是非とも多くの市民の皆さんとお祝いしたいと思っています。
- 記者の皆さんにもご案内を差し上げております。ぜひご参加くださるようお願いします。

このほかの情報としては、グリーンカーテンプロジェクト in しばた実行委員会の長年にわたる活動が認められ、見事、「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」を受賞した話題があります。

また、中央図書館の企画展示「さよなら平成展」、当市出身の赤穂義士・堀部安兵衛を偲んで毎年行われている「義士祭」があります。

そして、今年最後となる「しばた軽トラ市」を、クリスマスバージョンとして開催するほか、新発田市・胎内市・聖籠町が連携して行う婚活イベント「焼肉恋物語」があります。

一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田を盛り上げていただきたいと思います。